

## 「第9回アラブ人学生歓迎プログラム ASP2010」

総合政策学部 4年 滝川理紗

### 1. 目的

本プログラムは、日本語を学ぶアラブ人学生と、日本でアラビア語を学ぶ日本人学生の相互的な学術交流活動である。長期的な視野に立ち、将来にわたって日本とアラブ世界の関係を友好的に発展させることのできる人材の育成のほか、学生主体のイスラーム圏との学術的な相互交流のモデル作りも目指している。

### 2. 内容

アラブ世界で日本語を学ぶ学生を日本に招聘し、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスでアラビア語を学ぶ学生たちとの交流による日本語短期研修プログラムである。

具体的には、日本語ビデオスキットの制作や日本語による個別の研究レポートの作成、日本文化体験、アラビア語によるディスカッションなどをSFCの学生たちと協働で実施する。“作りながら学び、学びながら作る”というコンセプトのもと、実践的な活動の展開が、単なる相互理解にとどまらず、自分たち自身の変化への努力を通じて、互いに共有できる知を探究する契機となり、日本とアラブ、さらにはアラブ人同士の良い関係を作るプログラムとなることを目指している。



(着付けを体験するアラブ人学生)



(レポート作成の為に日本人学生と議論するアラブ人学生)

### 3. 2010年度統一テーマ「ジハードを問い直す～実践型学術交流の試み～」

本年度は「ジハードを問い直す～実践型学術交流の試み～」を全体の統一テーマとして活動を行った。「ジハード」とは元来、信仰や価値観の異なる人々との間に良好な関係を不断的努力によって築くことである。これはASPがつねに大切にしていることではあるが、本年度は、この点を特に意識してまさに良好な関係構築に向けて交流活動を進めた。同時に、「ジハード」と「テロリズム」とを同義とする誤った概念が、国内外を問わず広まっている現状に対する問題提起をも目的とした。アラブ人とともにジハードの概念を捉え直し、学術交流のレベルで、そのひとつの在り方を実践的に模索する契機になったと考えている。

#### 4. ASP2010 の活動概要

日時：2010年10月24日～11月9日

場所：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）

参加者：シリア人学生2名、モロッコ人学生3名、イエメン人学生1名、計6名

奥田敦研究会に所属する学生約40名

#### 5. 期間中の主なプログラム内容

10月26日（火）	<b>アラビア語ディスカッション</b> 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスでアラビア語を学ぶ学生と共に、テーマ別（宗教、文化、政治、教育）で様々な角度から‘ジハード’についてグループディスカッションを行った。
28日（木）	<b>アラビア語授業サポート</b> SFCで行われているアラビア語の授業にアラブ人学生が参加し、アラビア語を学んで半年ほどの日本人学生と交流し、アラビア語学習のサポートを行った。
29日（金）	<b>華道体験</b> 外部の華道の先生にお越しいただき、華道の体験を行った。
11月1日（月）	<b>着付け体験</b> 外部の華道の先生にお越しいただき、着付けの体験を行った。
2日（火）	<b>日本語授業体験</b> 昨年度まで SFC で外国人に対する日本語教育法を研究されていた重松淳教授をお招きし、日本語の模擬授業を開講して頂いた。
8日（月）	<b>最終発表・修了パーティー</b> 2週間日本で学び、インタビューなどの調査内容をもとに、各自の問題意識をまとめた日本語レポートを、それぞれのアラブ人学生が発表した。アラブ人学生と日本人学生との努力と協力の成果が表れたレポートとなった。修了証書授与の後は、2週間にわたる日本での生活を振り返りつつ、修了パーティーを行った。

※週末は鎌倉旅行、東京旅行、富士旅行へと出かけた。また、上記のプログラム以外は日本人学生とアラブ人学生が協働し、日本語によるレポート作成に取り組んだ。

ASP2010の成果の一部は、11月22、23日に六本木ヒルズで開催される慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスオープンリサーチフォーラム（ORF2010）にて展示公開する予定である。

#### 6. 予算の執行

本活動の招聘者1名の航空券代として、湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」からの助成による予算を執行する。

#### 7. 参考資料

- ・本年度の活動に関して、11月5日付の朝日新聞に掲載された

([http://mytown.asahi.com/kanagawa/news.php?k\\_id=15000001011050001](http://mytown.asahi.com/kanagawa/news.php?k_id=15000001011050001))

- ・本年度「アラブ人学生歓迎プログラム ASP」公式 web サイト

(<http://nafidha.sfc.keio.ac.jp/asp/>)

なお、本プログラムの詳細に関する報告書を現在作成中である。

#### 8. 謝辞

本プログラム実施に際し、ご協力いただきました全ての皆さまに心より感謝致します。なお、本プログラムは2010年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」、慶應義塾大学「150年記念未来先導基金」のご支援、また寄付や学園祭での収益などにより行われました。